

# 総合的な学習の時間での活用

坂井市立春江中学校

活用目的	資料の活用	利用指導	情報活用能力の育成
------	-------	------	-----------

本事例のねらい	学校図書館と授業の関わりを増やす
---------	------------------

**本事例の概要（学校図書館等を活用した項目に★印）**

令和2年に「ふくいSDGsパートナー」に登録した。福井県の未来戦略課が行っている事業で、登録したパートナー同士が連携して、SDGsに関する活動ができるものである。様々な企業が登録しているので、企業が行っているSDGsに関する活動を見学することができるという利点がある。

本校では、総合的な学習の時間において、SDGsを探究することがあった。そこで、SDGsに関する本のコーナーを常設した。また、SDGsを取り上げた国語科や総合の学習でそれに関連した本を公立図書館から300冊団体貸出で用意したり、新聞社から提供された資料を活用した授業を行った。



本事例に関わった人（いる場合は○を選択してください）	実践のポイント
<input type="radio"/> 学校司書 <input type="radio"/> 司書教諭 <input type="radio"/> その他の学校職員 <input type="checkbox"/> ボランティア <input type="radio"/> 公共図書館職員 <span style="font-size: small;">左の具体的内容を選択してください</span> <input type="checkbox"/> その他 <span style="font-size: small;">（その他の具体的内容を入力してください）</span>	教員からの学校図書館への希望を待つのではなく、学校図書館側から授業について情報を収集することが大切である。

資料	SDGs関連の本
----	----------